



Internet

SurfControl RiskFilter - E-mail はじめに

目次

このガイドについて	1
技術サポート	1
はじめる前に	2
構成	4
ステージ 1: ハードウェアのセットアップ	4
ステージ 2: ハイパーターミナルの接続	5
ステージ 3: アプライアンスの構成	6
ステージ 4: ソフトウェアの更新	7
ステージ 5: ライセンスをアクティブにする	8
ステージ 6: AVA と ASA の更新	9
ステージ 7: リレーコントロール	9
ステージ 8: メールルーティング	11
設定完了	12

このガイドについて

このガイドは、E-mail のフィルタリングをできるだけ早く開始できるよう、RiskFilter ミ E-mail をデフォルトの設定でインストールする方法について説明します。RiskFilter ミ E-mail Filter ハードウェアセットアップガイド と RiskFilter ミ E-mail 管理者ガイド に、RiskFilter ミ E-mail アプライアンスの最適化と微調整の方法についての詳細が示されています。

SurfControl のサポート技術情報にアクセスするには、
<http://kb.surfcontrol.com/> をご参照ください。

RiskFilter ソフトウェアを更新すると、最新の RiskFilter ドキュメンテーションを受け取ります。ドキュメンテーションの更新版は、www.surfcontrol.com からダウンロードすることができます。メインメニューから、**ダウンロード** > **ユーザガイド** を選択し、次にダウンロードしたいドキュメントを選択して下さい。

技術サポート

技術サポートは、www.surfcontrol.com/support をご参照ください。

技術サポートの担当者とお話になりたい場合は、SurfControl 技術サポートにお電話下さい：

表 1 技術サポートお問い合わせ番号

地域	受付時間	電話番号
アメリカ	8:00 AM - 8:00 PM (EST) 月曜 - 金曜	(831) 440-2700
ヨーロッパ	9:00 AM - 5:30 PM (GMT) 月曜 - 金曜	+44 1260 296 259
アジア	9:00 AM - 5:30 PM (北京、香港、台湾、シンガポール、GMT +8) 月曜 - 金曜	+65 6823 1313

はじめる前に

はじめる前に

はじめる前に、パッケージの中に下記のアイテムが揃っているかどうかを確認して下さい：

表 2 パッケージ内容

ハードウェア	サポートガイド
SurfControl RiskFilter - E-mail アプリア ンス	エンドユーザライセンス同意
ハードウェア用アプリアンスラック	ハードウェアセットアップガイド
RS232 Serial Direct ポートケーブル	スターターガイド
電源コード（国内仕様）	Declaration of Conformity（適合宣言 書）
	リカバリー CD-ROM ミ SurfControl サ ポートのガイダンスがある場合のみ使 用してください。

下記のドキュメントをお読み下さい：

- **技術サポートの記事 1534** には、RiskFilter のソフトウェアの最新バージョンに関する重要な情報が含まれています。
<http://kb.surfcontrol.com/> のサイトを開き、検索フィールドに 1534 と入力して下さい。
- RiskFilter - E-mail ハードウェアセットアップガイド

さらに、下記の情報を収集する必要があります：

表 3 RiskFilter.E-mail のインストールに必要な情報

情報	説明	メモ
ホスト名	RiskFilter - E-mail アプリ アンスのホスト名	
ドメイン名	ネットワークのドメイン名 例：mycompany.com	
IP アドレス	RiskFilter - E-mail アプリ アンスの eth0 ネットワーク インターフェースカードの IP アドレス 例：192.168.5.23	
サブネットマスク	例：255.255.255.0	

表 3 RiskFilter.E-mail のインストールに必要な情報

情報	説明	メモ
デフォルトゲートウェイ	RiskFilter - E-mail アプライアンスのデフォルトインターネットゲートウェイ	
DNS サーバの IP アドレス	アプライアンスによって使用されるすべての内部もしくは外部の DNS サーバの IP アドレス	
タイムゾーン設定	RiskFilter E-mail アプライアンスのタイムゾーン設定 例 : Europe\London	
ライセンスキー	RiskFilter-E-mail アプライアンスが発送されると、SurfControl は e-mail を通じてライセンスキーを提供します。ライセンスキーをお持ちでない場合は、SurfControl カスタマーサービスにお問い合わせ下さい。	

構成

構成

RiskFilter-E-mail の構成には 8 つのステージがあります。これらのステージを終了すると、RiskFilter-E-mail は e-mail のフィルタリングを開始する準備ができます。

表 4

ステージ	ページ
ステージ 1 : ハードウェアのセットアップ	4
ステージ 2 : ハイパーターミナルの接続	5
ステージ 3: アプライアンスの構成	6
ステージ 4: ソフトウェアの更新	7
ステージ 5: ライセンスをアクティブにする	8
ステージ 6: AVA と ASA の更新	9
ステージ 7: リレーコントロール	9
ステージ 8: メールルーティング	11

これで開始の準備はできました。ステージ 1 : ハードウェアのセットアップに進んで下さい。

ステージ 1: ハードウェアのセットアップ

RiskFilter-E-mail アプライアンス の電源を入れる前に、ハードウェアを準備して下さい：

手順 1: ハードウェアのセットアップ	
ステッ	操作
1	ハードウェア セットアップ ガイドのステップに従って、アプライアンスをラックにのせるして下さい。まだネットワークには接続しないで下さい。
2	付属の RS232 Serial Direct ポートケーブルを使用して、RiskFilter - E-mail アプライアンスをハイパーターミナルとして機能するコンピュータに接続して下さい。

ステージ 2 : ハイパーターミナルの接続に進んで下さい。

ステージ 2: ハイパーターミナルの接続

ステージ 1 では、RiskFilter-E-mail アプライアンスをハイパーターミナルとして機能するコンピュータに接続します。RiskFilter アプライアンスとやり取りできるようにハイパーターミナルを構成する必要があります。

注意: *Windows 2003* をご使用の場合は、スタート前にハイパーターミナルをインストールする必要があるかもしれません。

手順 2: ハイパーターミナル接続のセットアップ	
ステッ	操作
1	ハイパーターミナルのコンピュータ上で、 スタート > プログラム > アクセサリ > 通信 > ハイパーターミナル を選択して下さい。
2	「接続の説明」ダイアログが表示されます。ハイパーターミナル 接続の名前を入力して下さい。 注意: 接続の説明ダイアログが自動的に表示されない場合は、ファイルメニューから「新しい接続」を選択して下さい。
3	OK をクリック。
4	コンピュータが RiskFilter - E-mail アプライアンス を接続するために使う通信ポートを選択して下さい。 COM1 か COM2 を選択できません。 OK をクリック。
5	ステップ 6 で指定したポートのプロパティシートが表示されます。下記の通り、フィールドに入力して下さい： <ul style="list-style-type: none"> ・ 秒速ビット：38400 ・ データビット：8 ・ パリティ：なし ・ ストップビット：1 ・ フローコントロール：なし OK をクリック。
6	ファイルメニューから「保存」を選択して下さい。

ステージ 3 アプライアンスの構成に進んで下さい。

構成

ステージ 3: アプライアンスの構成

SurfControl RiskFilter - E-mail アプライアンスの電源を入れる準備ができました。ステージ 2 で行ったハイパーターミナル 接続を使用してアプライアンスを構成して下さい。

手順 3: RiskFilter アプライアンス の構成	
ステッ	操作
1	RiskFilter - E-mail アプライアンスの電源を入れて下さい。電源ボタンはフロントパネルの後ろにあります。
2	ハイパーターミナル 接続を開いて、パスワードを \$rfmngn\$ とし、rfmngn とログインして下さい。
3	firstboot.pl とタイプし、リターンキーを押します。
4	RiskFilter の構成スクリーンが表示されます。RiskFilter E-mail アプライアンスのホスト名を入力して下さい。 リターンキーを押します。
5	RiskFilter - E-mail アプライアンスがおかれているドメイン名を入力します。 リターンキーを押します。
6	RiskFilter - E-mail アプライアンスの IP アドレスを入力します。
7	RiskFilter - E-mail アプライアンス を接続したいネットワークのサブネットマスクを入力して下さい。 リターンキー を押します。
8	RiskFilter - E-mail アプライアンス を接続したいネットワークのゲートウェイアドレスを入力します。 リターンキー を押します。
9	タイムゾーンのリストが表示されます。該当のタイムゾーンを選択して下さい： <ul style="list-style-type: none">第 1 タイムゾーンの地域を選択して下さい。例：ヨーロッパは 8 です。第 2 タイムゾーンの地域を選択して下さい。例：ロンドン は 21 です。
10	構成スクリーンに選択した設定が表示されます。自動的に DNS サーバの IP アドレスも表示されます。 これらの設定でよいかどうかを尋ねられます。Y とタイプして下さい。

手順 3: RiskFilter アプライアンス の構成	
ステップ	操作
11	rfmngr ユーザアカウントの新しいパスワードを入力して下さい。確認のため。もう 1 度そのパスワードを入力して下さい。
12	構成スクリーンが新しい設定で再起動します。
13	ネットワークケーブルを RiskFilter - E-mail アプライアンスに接続して下さい。
14	RiskFilter - E-mail アプライアンスからシリアルケーブルの接続を切断して下さい。

これで RiskFilter - E-mail アプライアンスハードウェアを構成しました。ソフトウェアも構成する必要があります。ステージ 4 に進んで下さい。

ステージ 4: ソフトウェアの更新

ソフトウェアを更新する前に、<http://kb.surfcontrol.com> のサイトで技術サポートの記事 1534 をお読み下さい。

手順 4: RiskFilter - E-mail ソフトウェアの更新	
ステップ	操作
1	ウェブブラウザを開いて、以下の URL を入力して下さい。 <code>https://<ホスト名または RiskFilter - E-mail アプライアンスの IP アドレス>:10000</code>
2	ユーザ名 rfmngr と手順 3 で指定したパスワードを使ってログインします。
3	システム管理コンソールが表示されます。RiskFilter をクリックして下さい。
4	RiskFilter タブが表示されます。RiskFilter-E-mail の更新をクリックして下さい。
5	更新タブが表示されます。下記のチェックボックスを選択して下さい： <ul style="list-style-type: none"> • RiskFilter-E-mail • SurfControl OS OK をクリック。

構成

手順 4: RiskFilter - E-mail ソフトウェアの更新	
ステッ	操作
6	RiskFilter が最新のソフトウェアと OS 更新版と最新の管理者ガイドをダウンロードします。更新が無事完了したことを知らせるメッセージがスクリーンに表示されます。

ここでRiskFilter-E-mail ライセンスをアクティブにして下さい - ステージ 5 に進んで下さい。

ステージ 5: ライセンスをアクティブにする

ライセンスをアクティブにするために、次の手順 5 に従って下さい。

手順 5: ライセンスをアクティブにする	
ステッ	操作
1	ウェブブラウザで、以下の URL を入力してください。 https://< ホスト名または RiskFilter - E-mail アプライアンスの IP アドレス >/admin
2	次に続くログインのページで、ユーザ名 administrator とパスワード admin を入力して下さい。ログインをクリック。
3	ライセンスステータスページが表示されます。コンポーネントライセンスの横の 表示 ボタンをクリックして下さい。
4	シリアル番号およびアクティベーションコードを入力して、 送信 をクリックします。
5	ライセンス登録を完了するために、ユーザ情報フォームを記入し、 送信 をクリックします。
6	ライセンス登録が無事完了したことを知らせるメッセージが表示されます。

Anti-Virus Agent (AVA) と Anti-Spam Agent (ASA) ソフトウェアを更新するために、ステージ 6 に進んで下さい。

ステージ 6: AVA と ASA の更新

Anti-Virus Agent と Anti-Spam Agent のパターンファイルを更新するために、手順 6 に従って下さい。ウイルスとスパムに対する最善の対策を維持するために、ファイルを定期的に更新して下さい。

手順 6: AVA と ASA のパターンファイルの更新	
ステップ	操作
1	ウェブブラウザで、以下の URL を入力してください。 <code>https://< ホスト名または RiskFilter - E-mail アプライアンスの IP アドレス >/admin</code>
2	次に続くログインのページに、デフォルトユーザ名 administrator とデフォルトパスワード admin を入力して下さい。ログインをクリックして下さい。
3	システム設定タブ上で、更新メニューから すぐ更新 を選択して下さい。
4	Anti-Virus の定義 と Anti-Spam の定義 のチェックボックスを選択して下さい。
5	送信 をクリック。メッセージが、更新が無事完了したことを知らせます。

ステージ 7 に進んで下さい。

ステージ 7: リレーコントロール

RiskFilter - E-mail アプライアンスは、ドメインのメールリレーとして機能するので、自分のドメインの e-mail を送受信するように設定する必要があります：

- DNS サーバ上に登録された **MX レコード**を使用して **e-mail** を送受信する場合、MX レコードが MTA ではなく RiskFilter-E-mail アプライアンス向けになるように編集する必要があります。
- ファイアウォールがインターネットから入ってくるメールを受信する場合、インバウンドの e-mail を MTA ではなく直接 RiskFilter - E-mail アプライアンスに送るようにファイアウォールのルールを修正する必要があります。

構成

これらを行った後、ドメインのリレーコントロール設定を、RiskFilter-E-mail アプライアンスがオープンリレーとして機能しないように適用させる必要があります。手順 7 に従って下さい。

手順 7: リレーコントロールの設定	
ステッ	操作
1	ウェブブラウザで、以下の URL を入力してください。 https://< ホスト名または RiskFilter - E-mail アプライアンスの IP アドレス >/admin
2	次に続くログインのページに、デフォルト名 administrator とデフォルトパスワード admin を入力して下さい。ログインをクリック。
3	セキュリティメニューから、リレーコントロールを選択して下さい。
4	ドメイン フィールドに、E-mail のドメイン名を入力し、追加をクリックして下さい。組織が2つ以上のドメインをもっている場合、同じように他のドメインも入力して下さい。RiskFilter E-mail は、指定したドメインに属する e-mail のトラフィックのみを受け取ります。
5	次の IP からリレーされた e-mail を許可フィールドの中に、RiskFilter - E-mail に e-mail をリレーさせたい MTA、メールサーバ、またはその他のデバイスの IP アドレスを入力して下さい。追加 >> をクリックします。IP が右の列の中に示されます。 注意: IP アドレスのリストにリレーされるメッセージは、接続コントロール、リレーコントロール、メッセージコントロール、ディレクトリアタックコントロールおよびユーザ認証を迂回します。
6	すべてのドメインと IP アドレスを入力したら、送信をクリックして下さい。更新が無事行われると、メッセージが表示されます。

RiskFilter-E-mail が使用するメールルーティングメソッドを指定する必要があります。ステージ 8 に進んで下さい。

ステージ 8: メールルーティング

RiskFilter-E-mail がメッセージをルーティングする方法は 2 つあります:

- 指定した DNS サーバ上の MX ルックアップを実行する方法 (これがデフォルトのルーティングメソッドです)。
- メッセージを MTA もしくは他の SMTP サーバに送る方法。

どのメソッドを使用するかを選択し、手順 8 もしくは手順 9 のいずれかに従って下さい。

DNS サーバを通じてルーティングを設定する場合は、手順 8 に従って下さい:

手順 8: DNS サーバを通じてのルーティング	
ステップ	操作
1	ウェブブラウザで、以下の URL を入力してください。 <code>https://<ホスト名または RiskFilter - E-mail アプライアンスの IP アドレス>/admin</code>
2	次に続くログインのページで、ユーザ名 administrator とパスワード admin を入力して下さい。ログインをクリック。
3	システム設定タブ上で、メールルーティングメニューからドメインベースの配信を選択して下さい。
4	デフォルトエントリが表示されます。編集をクリック。
5	以下の DNS サーバを通じて e-mail サーバを決定するを選択して下さい。
6	RiskFilter E-mail アプライアンス に使用させたい DNS サーバの IP を入力して下さい。 追加 >> ボタンをクリック。IP アドレスが右の DNS サーバのリストに表示されます。
7	他の DNS サーバを追加する場合も、ステップ 5-6 を繰り返して下さい。
8	送信をクリック。
9	ドメインベースの配信リストにエントリが追加されます。

構成

E-mail を SMTP サーバにルーティングするために、手順 9 に従って下さい。：

手順 9: SMTP サーバへのメッセージのルーティング	
ステッ	操作
1	ウェブブラウザで、以下の URL を入力してください。 https://< ホスト名または RiskFilter - E-mail アプライアンスの IP アドレス >/admin
2	次に続くログインのページで、ユーザ名 administrator とパスワード admin を入力して下さい。 ログイン をクリック。
3	システム設定タブ上で、メールルーティングメニューからドメインベースの 配信 を選択して下さい。 追加 をクリックします。
4	ドメイン をクリックします。ドロップダウンメニューからドメインを選択して、 追加 をクリックして下さい。右の列にドメインが表示されます。 注意： リストにドメインを追加する場合は、9ページの“リレーコントロールの設定”を参照して下さい。
5	配信方法セクションから、以下の SMTP サーバ に E-mail を転送するを選択して下さい。
6	使用したい SMTP サーバ の IP アドレス を入力して下さい。 追加 >> ボタンをクリック。右のサーバリストの列に IP が表示されます。
7	必要な SMTP サーバ をすべて追加すると、 送信 をクリックして下さい。ドメインベースの配信リストにエントリが追加されます。

設定完了

RiskFilter-E-mail の設定が完了し、アプライアンスは e-mail のフィルタリングの準備ができました。下記の方法については、Administrator ガイドを参照して下さい：

- ポリシーの作成と適用
- RiskFilter E-mail アプライアンス のシステムへの微調整と最適化
- e-mail の管理と監視

管理者ガイドを表示するためには、Administrator のスクリーンにログインし、ヘルプメニューから **管理者ガイド** を選択して下さい。



Copyright ©1998-2004 SurfControl plc. All rights reserved.

本文書のいかなる部分も、著作権所有者の事前の許可なしに、電子的、機械的、コピー、録音、その他いかなる形式と手段によっても、複製、検索システムへの保管、または転送をしてはならない。SurfControl はSurfControl plc. の登録商標、SurfControl のロゴはSurfControl plc. の商標です。その他の商標は、各所有者が所有しています。

サポート情報、SurfControl ソフトウェアおよびドキュメントの更新は、 www.surfcontrol.com/support をご参照ください。

Version 4.0.3 printed February 2005.

www.surfcontrol.com

世界ナンバー1の Web & E-mail フィルタリング会社